

## 令和7年度事業評価書（令和6年度事業）

評価事項	評価項目	評 価	評 価 内 容
教養文化の向上	量的な視点からサービスは適切に行われたか。	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	アカデミー講座の年間開催数が大幅に増加し、9つの新規事業が開催でき、量的に増加している。
	質的な視点からサービスは適切に行われたか。	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	「子どもアート教室」で作成した作品とコラボした演劇公演の実施や、中学生アーティストの公演など、多分野の芸術を掛け合わせた斬新な事業を展開している。
	地域的な広がり、維持が適切に行われたか。	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	地域で活躍するアーティストを起用した企画に、地域の小学生が参加する等、地域を活かした地域貢献の事業が展開されている。
	ステップアップ促進が適切に行われたか	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	地域の高校生という、今まで利用が促進されなかつた層を対象とした事業が行われている。
情報発信	量的な視点から適切に情報発信が行われたか。	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	「あすと子ども通信」による年4回の配布、SNSの活用によって情報発信が実施されている。
	質的な視点から適切に情報発信が行われたか。	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	チラシのデザインに対する参加者や出演者の評価も高く、情報発信に質的な視点が意識されている。
	情報発信の方法は、適切であったか。	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	紙媒体の情報発信を維持しつつ、SNSやLINEの利用も促進して、幅広い年代のアクセスを意識した情報発信がなされている。
地域支援	量的な視点から適切に地域支援が行われたか。	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	地域支援事業に新規支援の2団体が追加され、昨年度並みの支援が実施された。
	質的な視点から適切に地域支援が行われたか。	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	万博共催チャレンジに登録し、イベントに複数回参加する等、泉大津市の特色を活かした地域活動の推進が行われた。
	地域支援の方法は、適切であったか。	適切に行われた ほぼ適切に行われた 適切とは言えない	支援団体の活動に、広報面、運営面等の様々な側面から支援が実施されている。またイベントの共同開催等、支援の幅も広がっている。
市民ニーズへの対	市民ニーズの把握と満足度向上	適切に行われた ほぼ適切に行われた	JTBコミュニケーションデザインの取り組みとして、アンケートの全国的な共

応	への取り組みは適切に行われたか。	適切とは言えない	通化を実施するために、利用者へのアンケート集計項目が前期・後期と異なり、年間で一貫した集計が不可能になってしまった。この点は、転換期として仕方がないことであり、次年度以降は全国的な傾向と比較した分析が可能になるため、今後は市民ニーズの把握と対応は改善されることが見込まれる。
事業計画とコンセプトとの整合性	策定された事業計画は、文化の自分化創造館を実現する・具体化する取り組みとして適切であったか。	適切 ほぼ適切 適切ではない	文化芸術の活動・発信拠点として、地域との交流による芸術活動・次世代育成の環境づくりとして、次世代人材育成の拠点として、地域の若手アーティストや講師が多彩な芸術分野で協働する活動や、小中学生を対象とした地域基盤のワークショップなどが実施されており、文化創造のための具体的な取り組みとして適切である。
	策定された事業計画の実施によって具体的な成果（アウトカム）が上がっているか。	上がっている どちらとも言えない 上がっていない	万博共催のイベントに地域の伝統を活かしたダンスで参加する取り組みや、地域のアーティストの活躍する場をワークショップ等で提供しそこに小学生が参加する取り組みなど、地域のアートやアーティストを活かして、地域に貢献するサイクルが実現されている。
	PFI 事業者の実施体制は、文化の自分化創造館を実現する・具体化する取り組みとして適切であったか。	適切 ほぼ適切 適切ではない	地域の若手アーティストや講師が多彩な芸術分野で協働する活動や、小中学生を対象とした地域基盤のワークショップ、万博共催のイベントに地域の伝統を活かしたダンスで参加するアウトチーチ活動などが実施されており、事業者と一体となった事業運営がなされている。

#### 事業についての講評

高校生を対象とした「学生バンドフェス HAMAFES」を実施したことにより、あすとホールの利用者層の拡大に成功していることが評価すべきポイントである。内容としても、高校生にとってなかなか発表の場がないバンド活動に着目することで、健全に発表できる場として成立したこと、従来からホールで活動している年齢層が加わって世代間交流の場ともなったことも非常に素晴らしい、文化芸術の発信だけでなく社会教育の場としての機能を大いに發揮している。

一方で、20～39 才の講座参加者が昨年度よりも減少していることから、市民のニーズを把握した講座の実施も望まれる。今後も、幅広い年代や性別の市民にとって、文化芸術の学びの中心として機能していってほしい。

#### PFI 事業者への提言、提案など

参加者へのアンケート調査が全国的に統一され、今後は比較可能になる予定であり、地域独自のイベントや全国的に人気のあるイベントなど、傾向性に合わせた広報の実施に期待したい。

また、イベントや講座等に参加していない市民の意向やニーズを把握するために、SNS 等を活用した調査などを検討していくことも考えられる。